



長崎がんばらば国体 2014

第69回国民体育大会 平成26年10月12日(日)～10月22日(水)

君の夢 はばたけ今 ながさきから

第69回国民体育大会
バスケットボール競技

競技記録

少年男子2回戦

主審 橋 貴志 (岩手)

副審 辻尾 祐介 (長崎)

青森 64



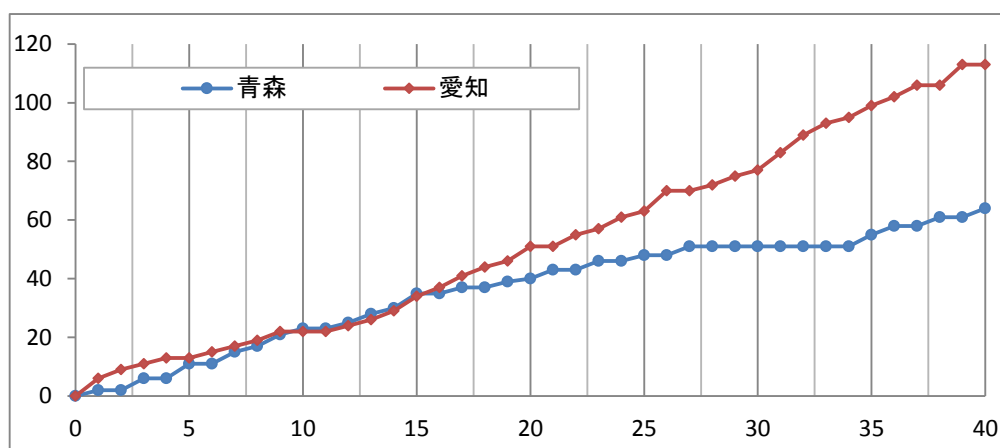
23 - 22
17 - 29
11 - 26
13 - 36
-

113 愛知



No. 19A-1 日時: 2014年10月19日(日) 10:00

会場: 長崎県立総合体育館



青森

No.	選手氏名	得点	3P	2P	FT	F	R	As
4	奥山 崇志 (C)	0	0	0	0	0	0	0
5	* 鈴木 亮也	9	1	3	0	1	0	3
6	磯谷 公哉	4	1	0	1	0	0	1
7	鳴海 亮太	7	2	0	1	2	3	1
8	* 齊藤 優弥	12	4	0	0	1	3	0
9	* 中野渡 紘己	2	0	1	0	0	1	0
10	* 太田 昂希	2	0	1	0	1	2	0
11	橋本 龍弥	11	1	4	0	1	0	2
12	大山 アレックス	0	0	0	0	0	2	0
13	下山 尚也	2	0	1	0	1	5	0
14	* 豊川 裕太	15	0	5	5	3	7	1
コーチ	千葉 哲也							
合計		64	9	15	7	10	23	8

愛知

No.	選手氏名	得点	3P	2P	FT	F	R	As
4	稲見 和也 (C)	8	0	4	0	0	0	2
5	* 福岡 博貴	16	0	7	2	1	9	1
6	ピリハ 実会	8	0	4	0	0	8	1
7	* 鈴木 雅大	17	3	4	0	2	2	2
8	* 宮道 雄斗	14	4	1	0	2	0	0
9	内海 祐太朗	2	0	1	0	0	6	0
10	岡野 佑紀	10	0	5	0	0	9	0
11	* 遠藤 和希	7	1	1	2	2	2	6
12	* ザン 歌	10	0	3	4	1	13	1
13	鈴木 空	13	3	2	0	1	0	0
14	高橋 理輝	8	2	1	0	0	1	3
コーチ	常田 健							
合計		113	13	33	8	9	50	16

*...スターター (C)...キャプテン 3P...3点シュート 2P...2点シュート FT...フリースロー F...ファウル R...リバウンド As...アシスト

戦評

2回戦、青森県対愛知県。青森県ゾーン、愛知県マンツーマンでスタート。序盤青森県は、愛知県の高さに対し、速攻を主体にドライブ、外角のシュートで応戦。対する愛知県は青森県のゾーンに対し、外角のシュート主体で対応。ともに点の取り合いとなり、23-22青森県リード。2Qもシーソーゲームが続く。試合が動き出したのは残り2分、青森県のタイムアウト後、愛知県がハーフコートで激しいディフェンスを仕掛け、速攻や#14の3Pなどで突き放し、40-51愛知県リードで前半終了。3Q、青森県マンツーマンにディフェンスを変える。愛知県は、それに対し、高さを生かしゴール下にボールを集め#5、#12が次々と加点。青森県は、愛知県の堅い守りに阻まれ、流れを掴んだ愛知県が一気に突き放し、51-77愛知県リード。4Q、青森県はゾンプレスを仕掛けるが、勢いに乗った愛知県を抑えることができず、速攻や外角シュートを次々と決められる。113-64で愛知県が3回戦に駒を進めた。愛知県の試合巧者ぶりが目立ったゲームとなったが、青森県の最後まで勝負を投げ出さずひたむきに戦う姿勢を称えたい。

記載者 亀渕 公雄 (所属) 長崎県バスケットボール協会



長崎がんばらんば国体 2014

第69回国民体育大会 平成26年10月12日(日)～10月22日(水)

君の夢 はばたけ今 ながさきから

第69回国民体育大会
バスケットボール競技

競技記録

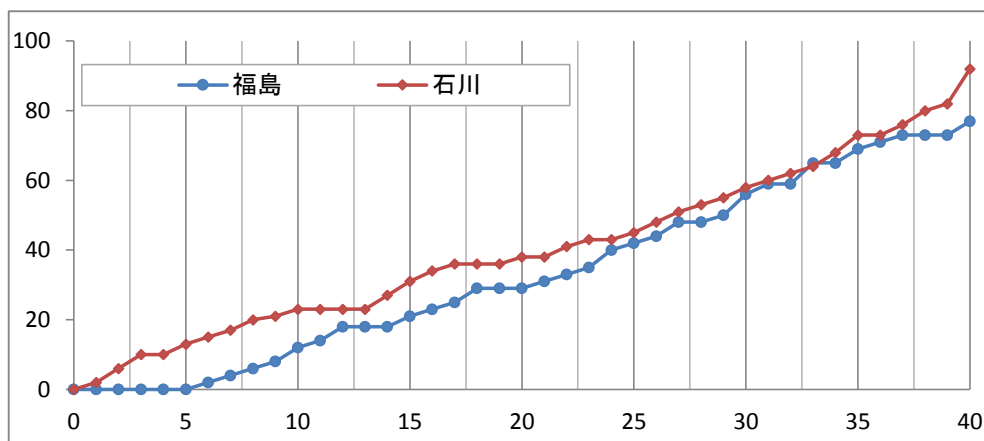
少年男子2回戦

福島 77 92 石川

主審 森田 将史(長崎)
副審 鶴瀬 優太郎(長崎)

12 - 23
17 - 15
27 - 20
21 - 34
-

No. 19A-2 日時: 2014年10月19日(日) 11:45 会場: 長崎県立総合体育館



福島

No.	選手氏名	得点	3P	2P	FT	F	R	As
4	熊田 匠 (C)	16	2	5	0	3	4	0
5	* 石井 和弦	12	0	6	0	4	7	2
6	佐久間 直登	4	0	1	2	4	0	0
7	大塚 恭平	0	0	0	0	1	3	0
8	佐伯 友也	0	0	0	0	1	0	0
9	関根 拓斗	0	0	0	0	1	3	0
10	鈴木 睦己	4	0	2	0	4	5	0
11	* 山口 貴大	2	0	1	0	3	2	0
12	* 遠藤 嘉人	17	1	7	0	5	3	2
13	* 安藤 航	14	0	3	8	5	9	0
14	* 朽木 叶	8	0	4	0	5	6	0
コーチ	二文字屋 哲					0		
合計		77	3	29	10	36	42	4

石川

No.	選手氏名	得点	3P	2P	FT	F	R	As
4	朝倉 翼 (C)	6	0	1	4	1	4	0
5	* 濱高 康明	11	0	4	3	4	4	0
6	山瀬 翔平	0	0	0	0	0	0	0
7	* 涌波 茄生	19	2	3	7	4	8	0
8	* 高澤 慎太郎	17	1	4	6	2	5	4
9	請田 佳彦	0	0	0	0	0	0	0
10	* 大倉 龍之介	9	1	1	4	4	6	0
11	酒井 達晶	0	0	0	0	0	0	0
12	* 古村 健一	30	0	10	10	2	15	0
13	石垣 駿	0	0	0	0	0	0	0
14	小室 悠太郎	0	0	0	0	0	0	0
コーチ	黒坂 昭弘					0		
合計		92	4	23	34	17	42	4

*...スターター (C)...キャプテン 3P...3点シュート 2P...2点シュート FT...フリースロー F...ファウル R...リバウンド As...アシスト

戦評

2回戦、福島県対石川県。福島県オールコートマンツーマン、石川県ハーフコートマンツーマンでスタート。石川県は#8のシュートを皮切りに連続得点し0-10になったところで福島県がタイムアウトを請求する。その後、福島県#12のシュートが連続で決まり、1Q12-23で石川県リード。2Q、硬さの取れた福島県は#10ゴール下のシュートが決まり残り8分に18-23とすると、石川県もリバウンドからの速攻で得点を重ね、29-38で前半を終了。

3Q、お互い激しいディフェンスが続く中、石川県は福島県#4の3Pや#5ゴール下のシュートで40-43に詰められたところでタイムアウト。その後、一進一退の攻防が続き56-58で石川県リード。4Q、更に攻防が激しくなる。福島県はオールコートゾーンディフェンスで仕掛けるが得点に結びつかない。逆に石川県は#12のゴール下のシュートや#5のシュートで残り1分で73-82となる。ここで、福島県が最後のタイムアウトを取るが、石川県がチームファウルで得たフリースローを確実に決めて、粘る福島県に92-77で勝利した。

お互いに激しいディフェンスを持ち味とするチームで、最後まで目の離せない白熱した試合であった。

記事者 松瀬 正人 (所属) 長崎県バスケットボール協会



長崎がんばらば国体 2014

第69回国民体育大会 平成26年10月12日(日)～10月22日(水)

君の夢 はばたけ今 ながさきから

第69回国民体育大会
バスケットボール競技

競技記録

少年男子2回戦

群馬 96



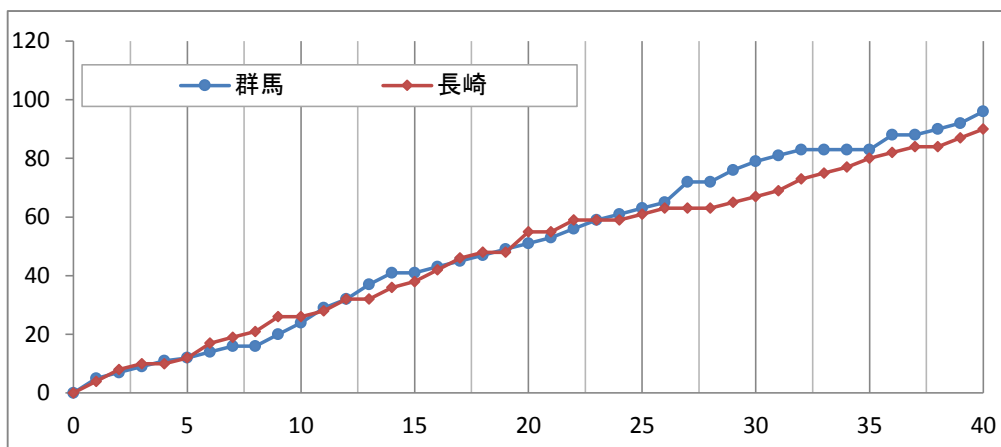
24 - 26
27 - 29
28 - 12
17 - 23
-

90 長崎



主審 阿部 聖 (北海道)
副審 比嘉 涼太 (沖縄)

No. 19A-3 日時: 2014年10月19日(日) 13:30 会場: 長崎県立総合体育館



群馬

No.	選手氏名	得点	3P	2P	FT	F	R	As
4	* 石橋 倅祐 (C)	6	0	3	0	2	1	5
5	* 五十嵐 蒼	2	0	1	0	3	0	4
6	* 小川 綾介	44	1	17	7	3	11	1
7	* 今里 遼太	18	2	5	2	1	4	2
8	* 福島 瑠也	22	2	8	0	4	3	1
9	斉藤 雅彦	0	0	0	0	0	0	0
10	小林 知矢	0	0	0	0	0	0	0
11	荒木 公士	0	0	0	0	0	0	0
12	土田 直輝	0	0	0	0	0	0	0
13	田中 佑哉	4	0	2	0	0	3	2
14	荒木 友弘	0	0	0	0	0	0	0
コーチ	渡辺 英輔					0		
合計		96	5	36	9	13	22	15

長崎

No.	選手氏名	得点	3P	2P	FT	F	R	As
4	* 中野 諭 (C)	18	0	9	0	2	3	4
5	* 山下 竜平	11	1	4	0	1	4	4
6	* 金田 新平	15	2	4	1	1	2	2
7	* 大町 イサ男	12	2	3	0	3	3	1
8	中山 雄姿朗	4	0	2	0	1	0	1
9	國武 龍聖	4	0	2	0	1	1	2
10	濱野 健太	0	0	0	0	1	0	0
11	森山 湧斗	4	0	0	4	0	2	0
12	松崎 颯馬	4	0	2	0	1	1	0
13	* 清水 将吾	2	0	1	0	3	4	0
14	池田 健人	16	0	8	0	0	9	0
コーチ	埴生 浩二					0		
合計		90	5	35	5	14	29	14

*...スターター (C)...キャプテン 3P...3点シュート 2P...2点シュート FT...フリースロー F...ファウル R...リバウンド As...アシスト

戦評

2回戦、群馬県対地元長崎県の対戦。両チームともにオールコートマンツーマンでスタート。1Q、群馬県#7の3P、リバウンドシュートで得点を重ねるのに対し、長崎県は#4のドライブイン、#7の3Pなどで得点し、一進一退の攻防が続く。1Qを26-24の長崎県リード。2Qに入り、群馬県がゾーンプレスでプレッシャーをかけ、長崎県のミス誘い速攻に持ち込み逆転、徐々に点差を広げる。長崎県は#5のミドルシュートや#11のフリースローで点差を詰め、#14のリバウンドシュートで再び逆転。前半を55-51長崎県リードで終える。3Q、群馬県のオールコートディフェンスに長崎県のミスが出始め、逆転を許す。群馬県#6にゴール下を支配され、徐々に点差が開き始める。長崎県はシュートが入らず、3Qが終わって79-67で群馬県リード。4Qに入り、長崎県が#5の速攻などの連続得点で差を詰めると、群馬県も#7の3Pで応戦。長崎県は残り4分、#6のカウントプレーで点差を3点まで詰める。しかし、終始オールコートでプレッシャーをかけた群馬県は、オフェンスリバウンドからの連続得点で96-90で勝利した。長崎県も最後まで勝利を信じ諦めずにプレーし、観客から大きな拍手が送られた。

記載者 宮川 剛 (所属) 長崎県バスケットボール協会



長崎がんばらんば国体 2014

第69回国民体育大会 平成26年10月12日(日)～10月22日(水)

君の夢 はばたけ今 ながさきから

第69回国民体育大会
バスケットボール競技
競技記録

少年男子2回戦

主審 松岡 隆博 (岩手)

副審 藤田 泰徳 (長崎)

広島 95

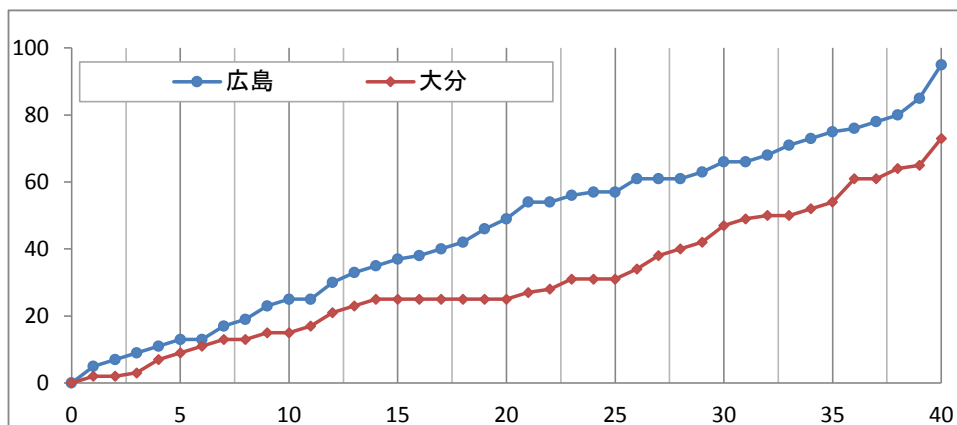
○

25 - 15
24 - 10
17 - 22
29 - 26
-

73 大分

●

No. 19A-4 日時: 2014年10月19日(日) 15:15 会場: 長崎県立総合体育館



広島

No.	選手氏名	得点	3P	2P	FT	F	R	As
4	* 佐々井 雄大 (C)	12	0	3	6	4	1	1
5	* 山崎 翔梧	21	3	4	4	2	4	1
6	* 小栗 尚幸	16	0	8	0	2	7	1
7	豊田 湧一郎	2	0	1	0	1	0	0
8	* 吉崎 綾汰	19	2	5	3	0	6	0
9	茂刈 皇希	4	0	0	4	0	0	0
10	檜作 昌慶	2	0	1	0	2	1	0
11	松浦 慎哉	1	0	0	1	0	2	0
12	* 伊森 響一郎	16	0	7	2	2	2	2
13	江尻 駿也	0	0	0	0	0	0	0
14	河野 拓海	2	0	1	0	0	1	0
コーチ	藤井 貴康							
合計		95	5	30	20	13	24	5

大分

No.	選手氏名	得点	3P	2P	FT	F	R	As
4	* 宮城 惇 (C)	7	1	2	0	4	0	2
5	* 前川 丈治	5	0	2	1	1	2	0
6	* 池原 海智	2	0	1	0	2	2	0
7	* 坂田 雅弥	2	0	1	0	2	5	0
8	堀 雄士郎	12	3	1	1	1	2	0
9	森本 勤太	18	2	6	0	4	2	1
10	香川 泰斗	1	0	0	1	1	0	2
11	ミス 安努隆	9	1	3	0	0	3	0
12	節川 翼	4	0	1	2	2	2	0
13	森山 翔太	1	0	0	1	2	2	0
14	* フェイ スター	12	0	6	0	2	14	0
コーチ	齋藤 哲也							
合計		73	7	23	6	21	34	5

*...スターター (C)...キャプテン 3P...3点シュート 2P...2点シュート FT...フリースロー F...ファウル R...リバウンド As...アシスト

戦評

1Q、両チームともマンツーマンでスタート。立ち上がり、お互い慎重な滑り出し。広島県は大分県の高さに対し、ドライブからの合わせやミドルシュートで点を決める。一方、大分県は#14の高さを生かし、点を入れ合う形となる。1Qは25-15広島県リード。2Q、お互いに流れをつかめないままゲームが進む。残り5分から広島#4のミドルシュートなどで一気に流れを引き寄せ、速攻やドライブなどで突き放す。大分県は5分間無得点が続く、結局49-25広島県リードで前半を終了。

3Q、大分県がオールコートゾーンプレスを仕掛け、広島県の得点を抑え、残り5分辺りから4連続ゴールなどで詰め寄り、66-47広島県リードで終了。4Q、大分県は引き続き、ゾーンプレ스로対抗。広島県のミスを誘い、早い展開で得点する。広島県も#6のゴール下のシュートなどを確実に決め、耐える展開が続く。大分県はメンバーを総入れ替えし、激しいディフェンスから流れを掴もうと試みるが、点差を詰めるまでには至らない。結局、広島県が前半のリードを守りきり、95-73で3回戦へ駒を進めた。前半大きくリードされた大分県であったが、全員一丸となって戦い続けた姿に敬意を表したい。

記事者 亀淵 公雄 (所属) 長崎県バスケットボール協会